

90人に、90の物語。



学長 江藤 直純



ルーテル学院だより

No.130
2017.4.1

<http://www.luther.ac.jp/>
発行 ルーテル学院大学・
日本ルーテル神学校
〒181-0015
東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL:0422-31-4611
FAX:0422-33-6405

発行人 江藤 直純

花が咲き競っているルーテルのキャンパスにはフレッシュシユマンがいっぱいいます。初々しい顔、声、姿勢。しかし、その群れの中に、だれ一人として「フレッシュシユマン」という名前のフレッシュシユマンはいないのです。また、「花」という名前の花は探しても見つかりません。そこにいるのは、たとえば、三鷹太郎とか大沢華子とかという世界に一人だけの名前と人格と個性をもった人です。そこに咲いているのは、桜、いえ、より正確にはソメイヨシノとかサクラソウとかカタクリとかチューリップとかパンジーとか固有名詞をもった花です。

あなたが出会うその人は、掛け替えないおひとりであり、12歳なら12年間の、80歳なら80年間の世界に一つだけの、その人なりの物語を紡ぎながら生きてきた方だということに、ごく自然に気づき、そのような尊重すべき、愛すべき貴重な存在として関わりを持つていくでしょう。出会うのが3人なら3つの物語が3人の背後にあるのです。10人なら10の物語が、90人なら90の物語があることを意識して行けば、その相手の方とどれほど深い交わりが持てることでしょうか。どれほど適切な関わり合いができることでしょうか。人生が、わたしの物語が何倍も豊かになります。

そんな似ていても、みな違うのです。それを十把一絡げなどできません。一人ひとり生まれも育ちも違います。得意なこと、苦手なこと、感性の繊細さやアンテナの向きも、知性に関心を向ける領域やその高さや鋭さも個性豊かです。パーソナリティー、人柄、体や心の特徴はこれまた多種多様です。それがわたしたちです。地球上に70億人にも、70億通り。ルーテルのキャンパスに新入生が90人いたら、間違いなく90の物語をもって生きているのです。だから

「90人に、90の物語」——これが目に見えない大きな大きな物語を構成する、なくてはならない、小さいけど尊い物語。その主役はあなたです。ルーテルを舞台にわたしたちの物語を紡ぎ出していきましょう。

このことは自分自身を大切にするためだけではないのだといずれ気が付くと思います。わたしたちは大学にずっといるわけではなく、いつか（多くの場合は四年後）この大学を巣立っていきます。「人の役に立つ人」になって、だれかの援助者となって、ヒューマンケアを生業として、いえ職業にするかどうかは別にして、生き方として他者と出会い、関わり、助け合う人生を歩むようになるでしょう。その時に、



新入生へのメッセージ「ルーテル学院大学へようこそ」

大学院生

臨床心理学専攻修士課程 2年

山口 翼

学生会会長

臨床心理コース 4年

廣島 真希

(私立明治学院大学東村山高等学校出身)

この度ルーテル学院大学にご入学なさった大学生ならび大学院生の皆さん、ご入学おめでとうございます。このルーテル学院大学で新しい生活が始まります。大学は高校までとは異なり、自分で選択する機会が広がります。自由が増すとともに自分で責任を取らなければいけない環境になります。きっと皆さんはそれぞれの期待と不安を胸に秘めこのルーテルにご入学されたと思います。そんな大学生活を送るうえで、時には壁にぶつかることもあると思います。そんな時には、このルーテルに入学したときに持っている「自分の目指す夢」を思い出してください。この春から新しいことばかりがたくさんあります。戸惑い、疲れを感じることもありますが、自分の夢に向かって新しい生活を送るよう祈っています。これからのルーテルの生活が祝福されたものとなりますように祈っています。

新しくルーテル学院大学生となった皆様、ご入学おめでとうございます。これから同じ大学で共に学べることをうれしく思います。

さて、大学生活は全てが自己責任とはよく言われることであります。自由なカリキュラム、専門性の高い勉強、楽しいサークル、アルバイト、仲間との関わり。あなたの選択の結果は全て、あなたの将来に直結していきます。自分のことを自分で決める、というのはとても重く、勇気のいることです。しかし、ここで言う自己責任とは「すべてを一人でやらなければいけない」という事ではありません。誰かを頼っている仲間が、助けてくれる先輩が、親身になって話を聞いてくれる先生がいます。もし迷うことがあれば、不安を持つことがあれば、誰かを頼ってください。きっとその誰かは、あなたが「どのような結果になっても納得できる選択を見つめる」ことを助けてくれます。皆様は10年後、20年後に決して後悔しない大学生活を送れることを祈っています。

社会福祉教育 40周年を迎えて

学事顧問 市川 一宏

います。

また、高度の専門知識と技術をもつソーシャルワーカーの養成を目指して、2001年、大学院社会福祉学専攻修士課程が、2004年に大学院博士前期課程・後期課程が開設されました。

地域において、貧困、孤立、心身の障がい等の問題が複合する課題を抱えている方々、虐待、孤立死等の問題に直面する方々が顕著に増加してきました。これらの方々に寄り添い現場で働く卒業生をバックアップし、高度な専門教育を提供することは、本学の使命です。

なお、この歴史を支えて下さった卒業生や後援会の方々にも、心より感謝しています。

そして今日、人間理解を基盤にニーズの多様性に対応できる人材を養成するため、ルーテル学院大学は、人間福祉心理学科に再編し、福祉相談援助コース、地域福祉開発コース、子ども支援コース、臨床心理コース、キリスト教人間学コースの5コース制を開始しました。これは、社会に求められる人材を養成するための挑戦です。この新たな歩みに、多くの方々に連なってもらい、希望のある明日の社会を切り開いていきたいと願っています。



第20回 ジョイントコンサートが
開催されました。

チャレン 河田 優
2月25日(土)、日本福音ルーテル教会東京教会を会場に、ルーテル学院大学・神学校聖歌隊とハンドベルクワイア「ラウスアンジェリカ」のジョイントコンサートが行われました。特に本年度は、宗教改革500年と開催20回を記念してのコンサートであり、出演者と来場者を合わせて300名近い方々が会場が溢れるほど盛会でした。
今回のコンサートの特徴は、聖歌隊とラウスアンジェリカのOBOGの方たちの出演です。繰り返し合同練習にも時間を割いてくださったOBOGの働きを終わらせるマツケンジ教授から「ルターと宗教改革500年」の話をうかがった後の第二部の演奏には、交流ある立教女学院短期大学聖歌隊の皆さん、さらにはオルガニストの湯口依子先生、トランペット奏者の石井真さん、長年奏者を指揮するのは、長年本学で指導をいただいた徳善義昌先生です。最後の曲が演奏された後の鳴りやまない拍手の中で、出演者も来場者も神様によって「ひとつ」である喜びと感謝を分かち合いました。

インターンシップ体験談

子ども支援コース4年 山口 愛梨
(都立野津田高等学校出身)

普段見えないところに存在する福祉に関心があり、「認定NPO法人難民を助ける会」でインターンシップを行いました。緊急支援や障がい者支援、感染症対策など幅広い支援を行なっている中で、難民の障がい者に対する福祉と、国内で行われている福祉

臨床心理コース4年 富川 茉央
(千葉県立安房高等学校出身)
私は、三鷹市にある「株式会社文伸」にインターンシップに行きました。文伸では、5日間それぞれの部署を経験してもらいました。インターンシップの内容は、総務部で社会人スキルを学ばせてもらい、出版部で実際に地域の書店に直接フリーペーパーを渡しに行き、売り込みをし

の共通点や相違点の比較を心がけることで、過不足のない支援や地域コミュニティの重要性、環境は違いますが福祉の基本は同じであることを再確認しました。また普段目に見えなかったり、ニュースで聞くことでしか得られない限られた情報や知識にはとても偏りがあること、そしてそれが人権侵害に繋がるという

うことに気づかされました。駐在員として活動されている方々と意見を交わすことで新たな引き出しが増え、企業訪問では社会人としてのマナーを学ぶことができました。この経験を今後に活かしていきたいと思っています。

必要な計画力と臨機応変に対応する力の2つです。その日1日効率よく仕事を行うために計画を組み立てることで、その予定が変更になった際に早急に臨機応変に対応できることが社会人にとって大切なことであるということを学ぶことができました。私は就職活動が近いので、この経験を糧に頑張りたいと思います。

オープンキャンパスのご案内

4月29日(土) 13:00~16:30 「AO深掘り」説明会		5月20日(土) 13:00~16:30 「高校教員対象説明会」「学生による大学紹介」	
12:30	受付開始(トリニティホール)	12:30	受付開始(トリニティホール)
13:00	大学紹介	13:00	大学説明
13:30	AO深掘り説明会	14:00	模擬講義
14:00	模擬講義「多文化共生ソーシャルワーク」の仕事とは? (講義・グループワーク)	14:50	模擬講義
~14:40		15:30	キャンパスツアー
14:50	模擬講義「臨床心理学への招待」(講義)	16:00	入試説明会
~15:30	キャンパスツアー		
15:30	入試説明会		
16:00			

オープンキャンパスのご予約・お問い合わせ 企画広報センター 0422-32-2949 までお気軽にお問い合わせください。メールでのお問い合わせ koho@luther.ac.jp

行事予定

2017年4月~6月

- 4月4日 入学式
- 4月6日 新入生オリエンテーション
- 4月11日 授業開始
- 4月12日 新入生親睦会
- 4月29日 受験生対象オープンキャンパス
- 5月中旬 社会福祉実習開始
- 6月7日 学生総会
- 6月11日 受験生対象オープンキャンパス
- 6月24日 保護者の皆さま対象オープンキャンパス

第50回ルーテル学院卒業式

学生支援センター長 村上 秀紀

3月10日(金)、第50回ルーテル学院大学、第15回ルーテル学院神学校卒業式が本学チャペルにて執り行われました。学部は3学科最後の募集年度入学者が卒業となりキリスト教6名、社会福祉学科40名、臨床心理学科31名の計77名が4年間の学びを終えました。大学院は社会福祉学専攻1名を含む20名、神学校は3名、学院全体でちょうど100名が晴れて、卒業・修了を迎えました。



退任教員

西原雄次郎 先生



多くの皆様を支えられ、ご迷惑をおかけして30年が経過しました。30年という時間は、地球の時間からすればほんのわずかな時間ですが、人の生きる時間からすれば、相当長居をしたように思います。仕事を共にした同僚や先輩の皆様、共に学び・悩み・考える時間を共有した学生・卒業生の皆様、本当にありがとうございました。これから

ティモシー・マッケンジー 先生



宣教師の身分は28年目で、本学の教員としては13年目です。その間に色々な経験が与えられました。一般教会、宣教師会、ルーテル教会、そして本学の教員としての誠実な歩みになりました。教会・社会・教育法人の経験を通してルーテル教会の理解が深まりました。皆様と働かせていただいたことは忘れられません。皆様のご支援、ご協力、ご愛顧に感謝いたします。ありがとうございました。

新任教員

関谷光泰 先生



もう一人が関谷光泰助教です。先生は、明治学院大学大学院博士前期課程を修了し、3月まで日本福祉教育専門学校で社会福祉士養成の任を担っていました。国家資格は社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員を取得されています。先生も主にコミュニティ人材養成センターに在席し、ボランティア実習などを担当していただきます。若い先生方から、学生とのコミュニケーションが円滑にいくことを期待しています。(金子記)

廣瀬圭子 先生



二人の若い先生をお迎えしました。お一人が廣瀬圭子専任講師です。先生は、日本社会事業大学大学院で博士号を取得し、3月まで東洋大学で実習などを担当されておりました。国家資格は社会福祉士、精神保健福祉士以外に理学療法士も取得されています。主に、コミュニティ人材養成センターに在席し、インターンシップなどを担当していただきます。優しい先生ですから気兼ねなくお話ししてください。(金子記)

宮田周平 先生



皆様には3年間臨床心理相談センターの勤務にて大変お世話になりました。たまたま忙しい日であっても私はルーテルに行くことと少し元気をもらえようという気持ちがありました。それこそルーテルが歴史の中で築いてきた力のおかげだと思います。そして、私も来談者の方が少しでも元気になってもらえるよう心がけて参りました。センター及びルーテルの益々の発展をお祈り致します。

秋貞由美子 先生



2008年に着任して丸9年間、お世話になりました。2009年の「コミュニティ人材養成センター」創設、近隣住民の方に福祉の学びを広げる「地域福祉ファシリテーター養成講座」、「食DE絆」、「インターンシップ」など、大学と地域と学生を結びつける取り組みの創設に関わらせていただいたことは、大きな喜びです。ありがとうございました。

2017年度 入試結果報告

学 部		人間福祉 心理学科	社会福祉学専攻		臨床心理学専攻	合計	
			博士前期 課程	博士後期 課程	修士課程		
1 年次	志願者数	119					
	合格者数	99					
編 入	志願者数	11					
	合格者数	9					
			志願者数	3	3	38	44
			合格者数	3	2	15	20